

## 第二十六日目

師 範：室町時代になると、物産が京都に運ばれることがさかんになりました。

たとえば、日本海側から船で福井県の敦賀に運ばれ、琵琶湖を利用して大津に上げられます。そこから馬借という業者が京都に運搬しました。



1428年はききんに襲われ、物資の輸送量も減り、生活に困る民衆がたくさんいました。

滋賀県の馬借が徳政令をもとめて起こした一揆から、関西地方一体に広まり、大きな一揆になりました。

この正長元年1428年に起こった一揆を、正長の土一揆とか正長の徳政一揆といいます。

### 1428年 正長の土一揆がおこる。

この年はどうやって覚えますか。

ペン太：二つ考えました。

#### 「正長の一夜に走る馬借一揆」

#### 「正長は一夜に走る馬借から」

「いちや」と読まずに「ひとよ」と読んで14を表します。

「に」は2、「は(しる)」は8、これで1428としました。



コン太：ぼくは

#### 「一夜には終わらぬ正長の土一揆」



としました。

「ひとよに」で142、「は」で8を表します。

師 範：この一揆は、9月28日に起こり、11月まで続きました。

参加したものが「土民」といわれた一般の民衆が中心であったので、土一揆といわれます。

また求めたことが徳政令を幕府に出してほしいと願ったことや、自分たちで借用証文を破り捨てて借金帳消しをせまったことから徳政一揆ともいわれます。いずれにしても、「このように民衆がいっせいに立ち上がったのは日本始めて以来初めてだ」と大乘院の僧が、その驚きを書き残しています。

三つともよくできていますよ。